

西北カリブーの群れ減少の 要因 気候変動が疑われる



北米最大級のカリブーの群れの数が急降下しており、気候変動が個体数減少の原因である可能性が高い。Alaska Department of Fish and Gameによると、アラスカの西部北極圏カリブーの群れは、過去40年以上にわたって減少しており、その数は16万4,000頭で、2003年に過去最大であった50万頭近くから減少している。

記事参照：Climate change seen as suspected factor in Western Arctic Caribou Herd decline - ArcticToday (2023.1.4/Arctic Today)



Caribou from the Western Arctic Caribou Herd prepare to swim across the Noatak River, heading south on their fall migration. (Mike Thompson / National Park Service)

イヌイット・ヘリテージ・ トラスト 伝統的地名が失わ れる前に地図化



イヌイット・ヘリテージ・トラストの地名プログラムチームは、2007年以来初めてレゾリュート・ベイを訪れ、伝統的な地名を検討・収集しました。イヌイット・ヘリテージ・トラストのマネージャーであるリン・ペプリンスキーとコーディネーターのジッポラ・ウンガラックは、レゾリュート・ベイを訪れ、長老と彼らの知識であるイヌクトウト語の伝統的地名を記録した。ペプリンスキーは、レゾリュート・ベイの住民の知識をもとに伝統的な名称をマッピングするのは、他のコミュニティと同様、難しいことだと語った。2007年に一緒に仕事をした長老の多くは、その後亡くなっている。そのため、イヌクトウト語の地名のマッピングは、今後も必要不可欠だ。

記事参照：Inuit Heritage Trust maps traditional names before they're lost - ArcticToday (2023.1.18/Arctic Today)

オゾン層 今後数十年で回復 見込み 国連が発表



国連が支援する国際専門家委員会は、オゾン層を破壊する化学物質を取り除くための数十年にわたる努力のおかげで、地球のオゾン層が回復に向かっていることを明らかにした。記事参照：U.N.: Ozone layer is on track to recover in the coming decades : NPR (2023.1.10/NPR)

ロシア、EU制裁の結果、 北極圏の石油を中国とインド に経路変更



EUの対ロシア制裁により、北極圏の原油（Prirazlomnoyeプラットフォーム、Arctic GateおよびVarandeyターミナル）が中国やインドに流されるケースが増えており、現在3隻がムルマンスクから中国へ向けて航行している。専門家は、2023年には北極海航路経由のアジア向け原油輸出が増加すると予想している。記事参照：Russia Reroutes Arctic Oil To China and India as Result of EU Sanctions (highnorthnews.com) (2023.1.16/High North News)

アラスカ北極圏の海岸線で、 永久凍土の融解による被害抑 制の戦い



アメリカ最北端の集落に広がるツンドラ地帯の地下3メートル近くには、北極圏の太古の過去と未来を物語る氷の世界が広がっている。ノーススロープ群最大のコミュニティであり、自治区の住民の約半数が住むウトキアグヴィクにとって、容赦ない温暖化は大きな問題となることを意味する。

記事参照：On Alaska's Arctic coastline, a battle is on to limit harm from permafrost thaw - ArcticToday (2023.1.10/Arctic Today)



A view of Utqiagvik, Alaska on October 4, 2018, with no sea ice on the horizon and North Slope Borough crews working to protect the shoreline from storm surges. (Yereth Rosen)

2022年は記録上5～6番目の暖かさ NASAとNOAAが発表



地球の熱は昨年も続き、記録的な温度には至らなかったが、それでも記録上最も暖かい年の上位5、6位に入ったと、政府機関が報告した。しかし、石炭、石油、ガスの燃焼による「容赦ない」気候変動のため、今後数年間は記録的な猛暑が続くと予想されると、米国政府の科学者は述べている。

記事参照：2022 was 5th or 6th warmest on record as Earth's temperatures rise, say NASA and NOAA | CBC News (2023.1.12/CBC)

戦争と制裁にもかかわらず、ロシアの北極海航路の交通量が増加



北極海航路（NSR）の輸送は、国際的な事業者がこの航路を敬遠しトランジット輸送が停止しているにもかかわらず、2022年には3400万トンと緩やかに増加した。2024年以降は、ポストーク・オイルの建設に伴い、輸送量が急増すると予想される。

記事参照：Russia's Northern Sea Route Sees More Traffic Despite War and Sanctions (highnorthnews.com) (2023.1.18/High North News)

アラスカ州西部のウェールズ村でホッキョクグマが女性と1歳の息子を殺害



アラスカ州西部のウェールズ村で、ホッキョクグマが女性とその幼い息子を殺害するという極めて珍しい事件が発生した、と当局が発表した。ベーリング海峡学区の管理責任者であるSusan Nedza氏によると、事件は地元のKingikmiut Schoolの近くで起こったという。

記事参照：Polar bear kills a woman and her 1-year-old son in Western Alaska village of Wales - Alaska Public Media (2023.1.18/Alaska Public Media)

LKAB社、スウェーデン北部で大規模な希土類金属鉱床を発見



スウェーデンの国営鉱山会社LKABは、スウェーデン北部のキルナ近郊で、100万トン以上のレアアース酸化物を含む鉱床を発見したと発表した。この鉱床は、ロシアのコラ半島を除くヨーロッパで最大のレアアース発見となる可能性がある。

記事参照：LKAB discovers large rare earth metals deposit in northern Sweden - ArcticToday (2023.1.13/Arctic Today)

